

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： Interpret-able Deep Learning Framework that Generates Pixel-wise Labels from Human Interaction (解釈可能なインタラクティブ深層学習)
2. 個人研究者名
谷 林 (理化学研究所革新知能統合研究センター 研究員)
3. 事後評価結果

本研究では、画像認識を軸足として、研究者の並外れたバイタリティを存分に生かして、様々な課題を扱ってきた。

当初計画より人間の視線情報を医用画像認識の課題に活かすということの一つのキーアイデアとしていたが、これについては BMVC2021 での会議論文において無事に結実させている。他にも糖尿病網膜症診断 (IEEE Journal) や画像の輝度変換 (ICCV2021)、その他、画像認識関連課題について CVPR2021 や ECCV2020 などのトップカンファレンス、同分野のトップジャーナルなど、ACT-X 期間で 16 件の論文発表に至っているのは、共著論文が多いとはいえ、圧巻の仕事量と言える。成果報告書執筆時点でも CVPR2022 に 6 件、AAAI2022 に 4 件他と、そのペースは加速している。

COVID-19 のために医師とのコミュニケーションが進まず、一部において進捗の遅れがあったと報告されているが、それ以外については十二分の進捗があったと結論できる。彼の高いサーベイ能力とオープンマインドな性格が、ACT-X メンバへの頻繁なアドバイスにも表れていた点も、高く評価したい点である。